

## クルマ・バイクの故障、 トラブルの受付

### JAFロードサービス救援コール

全国共通、24時間年中無休

 **0570-00-8139**

通話料有料(固定電話3分/9.35円、携帯電話20秒/11円、公衆電話40秒/10円)。  
IP電話等からはご利用いただけません。  
携帯電話の無料通話分対象外。

または短縮ダイヤル シャープ ハイサンキョウ **#8139**

通話料有料。固定電話[ダイヤル回線]およびIP電話等からはご利用いただけません。

※JAFスマートフォンアプリ(Android & iOS対応)や  
救援要請ウェブサイトからもJAFを呼ぶことができます。

## 住所変更などの各種手続き、 会員サービスのご案内

### 総合案内サービスセンター

全国共通

9:00～17:30(年末年始休業)

 **0570-00-2811**

通話料有料(固定電話3分/9.35円、携帯電話20秒/11円、公衆電話40秒/10円)。  
IP電話等からはご利用いただけません。  
携帯電話の無料通話分対象外。

通話定額プランをご利用の方は  
**☎048-840-0036**

## ウェブからの お問い合わせ

<https://support.jaf.or.jp/>

カテゴリごとに整理されたFAQ(よくあるご質問)やお問い合わせフォーム  
をご利用ください。

## JAFマイページ

<https://jaf.jp/>

住所・電話番号の変更など各種手続き  
がウェブで簡単にできます。

発行/一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)  
〒105-0012  
東京都港区芝大門1-1-30  
日本自動車会館  
制作/(株)JAFメディアワークス 2024年6月



# JAF

一般社団法人 日本自動車連盟

JAF

JAFについてご紹介します。

a b o u t  
**JAF**  
2 0 2 4

## CONTENTS 目次

安全・安心な地域社会を支える	P02
くるま社会のセーフティネット	P04
会員優待サービスとイベント	P08
社会課題への取り組み	P12
モータースポーツの振興	P18
コミュニケーション	P20



一般社団法人

**日本自動車連盟**

# 安全・安心な 地域社会を支える

## JAFの基本理念

JAFは、自動車ユーザーに対し、安全と安心の支えとなるサービスを提供するとともに、交通の安全と環境のための事業活動を積極的に推進し、健全なくるま社会の発展に貢献します。

## JAFの運営指針

- 1 サービスのJAF  
私たちは、サービス精神をもって、社会のために尽くすことを事業推進の基本とします。
- 2 チャレンジするJAF  
私たちは、つねに問題意識をもって改革を進め、創意工夫と旺盛なチャレンジ精神を発揮して、事業の推進に努めます。
- 3 開かれたJAF  
私たちは、会員をはじめ多くの人々の声に耳を傾け、広く社会に開かれた組織を目指します。



一般社団法人  
日本自動車連盟(JAF)

会長  
**坂口 正芳**

*Sakaguchi Masayoshi*

私たちJAFの会員数は2024年3月末現在で2050万1千名に達し、1年間で約20万名の増加となりました。これも皆さまからのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

JAFでは、大きく変化しながら発展するモビリティ社会にどのような貢献ができるかを問いながら、対話と共創を通じて、社会課題への取り組みやドライバーの権益保護、会員サービスの一層の拡充、モータースポーツの振興などの事業活動をすすめています。

ロードサービスでは、電気自動車(BEV)にその場で充電する「EV充電サービス」の一部地域での試験運用のほか、電話での説明が難しい場合やJAFアプリをダウンロードされていない方もスマートフォンから簡単に救援要請をしていただけるよう、新設された専用サイトで受け付けるサービスを開始しました。

これからも進化を続ける自動車技術に対応するため、車両、資機材、システムをバージョンアップするとともに、ロードサービス隊員の教育・養成に努めております。

JAFの社会貢献活動については、「令和6年能登半島地震」に際し、特別支援隊を組織し石川県へ派遣しました。被災地近辺に拠点となる場所や入庫先がない状況下での派遣となったため、被災地から100km以上離れた金沢市を拠点とし活動をしました。

また、信号機のない横断歩道での歩行者保護についての調査は、2023年度で8回目となり、その結果は毎年多くのマスメディアにも取り上げられています。今回の調査では、停止率が45.1%となり、調査開始から右肩上がりとなっています。しかしながら、いまだ半数以上のクルマが停止しない現状があり、引き続き関係機関と連携し啓発活動をすすめてまいります。

会員サービスでは、ドライブを計画的かつ安全・安心に楽しんでいただくため、優待情報サイト「JAFナビ」のドライブページをリニューアルしました。会員の皆さまの日常でご利用いただける会員優待施設の充実やさまざまな生活シーンで楽しめるコンテンツの拡充をすすめてまいります。

モータースポーツでは、全国各地でのJAF公認競技会の開催を支援してまいりました。今後も各地域のモータースポーツクラブと連携し、より一層の活性化をはかってまいります。

JAFは、よりよいモビリティ社会の実現を目指し、積極的に事業活動に取り組んでまいります。今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

# くるま社会の セーフティネット

トラブルの現場に急行し、迅速に救援。  
信頼のロードサービスで、全国を広くカバーし、  
くるま社会のセーフティネットを実現します。



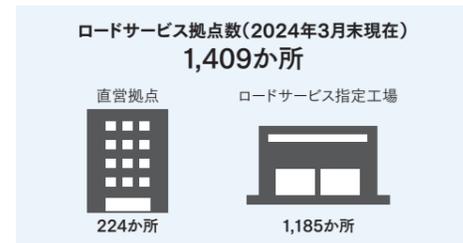
## 救援は年間226万件以上 約13.9秒に1件の割合で出動

いつでもどこでも起こるかわからないクルマやバイクのトラブル。救援要請を受けると、全国各地の拠点から隊員がいち早く現場へ。お客さまの安全・安心のため、そして円滑な交通環境を維持するため、速やかに作業にあたります。2023年度の救援は226万件以上。人流回復が続き、出動件数は増加しました。



**2023年度 ロードサービス出動件数**

	2023年度	2022年度
<b>合計</b>	2,268,868件	2,195,442件
うち二輪	89,879件	84,003件
<b>一般道路</b>	2,202,922件	2,132,732件
うち二輪	87,355件	81,574件
<b>高速道路</b>	65,946件	62,710件
うち二輪	2,524件	2,429件



## スマートフォンから 救援要請が簡単に

電話での救援要請は、全国統一の救援ダイヤルから。「JAFスマートフォンアプリ」や「救援要請ウェブサイト(2023年12月開始)」なら、画面での簡単な操作だけでJAFを呼ぶことができます。GPS連携で現場特定もスムーズなうえ、救援を待つ間もサービスカーの現在地を確認できて安心です。



## 現場到着をより早く 「ACⅢ」で最適化を実現

サービスカーがいち早く到着できるよう導入されているのが「ACⅢ」システム。予測できない救援要請に対して、各車の動態や道路状況、ルートなどを考慮しながら最適な配車管理を実現。拠点・ネットワークの調整とともに稼働強化に取り組み、2023年度の平均現場到着時間は38.6分となりました。



## バイクの搬送や タイヤトラブル対応を拡充

お客さまのニーズに耳を傾けながら、サービスをより便利に進化。近年は二輪アタッチメントを開発してバイク搬送対応を迅速化したほか、自走不能な乗用車にはタイヤ貸し出しサービスを実施しています。

**2023年度 ロードサービス出動理由**

一般道路・高速道路		
1 バッテリー上がり	933,421件	41.1%
四輪・二輪合計 2 タイヤのパンク	453,172件	20.0%
3 落輪・落込	139,570件	6.2%



## いつでもどこでも 24時間・365日体制

JAFロードサービスは24時間・365日・無休で対応。一般道路や高速道路上でのトラブルはもちろん、お客さまの自宅車庫や外出先の駐車場などへも駆けつけます。2024年4月から無料けん引距離を延長するなど、会員サービスの拡大をはかっています。



## ビデオ通話による オンラインでの救援活動も

業界に先駆け、会員のみを提供している「ビデオアドバイザーロードサービス」。スマートフォンのビデオ通話機能を利用し、救援要請されたお客さまから届くリアルタイム映像を確認しながらアドバイス。サービスカーが出動することなく、オンラインでトラブルが解決するケースもあります。



### 電欠現場での「EV充電サービス」開始

年々増加している電気自動車(BEV)の電欠トラブルに対応するため、2023年8月から「EV充電サービス」を一部地域で開始。順次、充電器搭載のサービスカーを導入し、対象エリアを拡大予定です。燃料電池車(FCEV)についても、トヨタ自動車(株)と移動式給水素車の開発に取り組んでいます。



### 多様化するトラブルにも 確実に対応

日々進歩するクルマの技術。多様化するトラブルに確実に応えるべく、最新技術に関する研修や、クルマに精通したテクニカルサポート課によるバックアップ体制を構築。蓄積してきた救援のノウハウは、ユーザー支援ウェブコンテンツ「クルマのトラブル診断(2023年5月公開)」にも活用されています。



### 選抜隊員で編成される ロードサービス特別支援隊

大規模災害発生時や豪雨・豪雪の季節災害時に派遣されるロードサービス特別支援隊。過酷な環境下での作業が多いため、全隊員約2,000名のなかから、特に技術力・運転操作技量・忍耐力・協調性に優れた100名ほどが選抜されます。任命された隊員は特別な訓練を重ね、スキルと経験を蓄えます。



### 能登半島地震の被災地で 88日間のべ618名が活動

ロードサービス特別支援隊は、2018年の西日本豪雨、2019年の東日本台風、2022年の静岡豪雨、2023年の愛知・秋田豪雨などで被災地に赴き、道路交通の迅速な回復に尽力しました。2024年の能登半島地震でも1月4日～3月31日にのべ618名が派遣され、708件の救援を実施しました。



### 「なによりも人命最優先」 現場の安全確保を徹底

隊員が現場で真っ先におこなうのが「安全確保」。二次事故防止のために、高速道路などでは後方警戒を徹底し、安全資機材や発炎筒をセット。作業中、お客さまには安全ベストを着用してもらい、安全な場所で待機していただきます。夜間は通行車両からの視認性を確保し、作業にあたります。



### サービスの品質を支える 研修・検定制度と競技大会

すべての隊員が高品質かつ均質なサービスを提供できるよう、キャリアに応じた研修の受講や社内検定の受検が義務付けられています。実技や接遇、規律性の向上に日々励み、その成果を披露する場として「全国ロードサービス競技大会\*」を開催。各エリア代表の隊員が磨き上げたスキルを競います。  
\*2度の延期を経て2023年10月に開催(通常は隔年開催)



### 地域防災における 関係機関との連携

自治体や警察、消防などと合同で、災害時を想定した防災訓練を定期的におこなっています。被災車両の救援や緊急交通路の確保など、実践訓練を通して各々の役割を確認。日頃から連携を深め、地域防災に貢献できるよう備えています。

2023年度 自治体などとの合同防災訓練への参加実績

回数	59回	参加隊員数	185名
----	-----	-------	------



### お客さま満足度を アンケート調査

ロードサービスを利用したお客さまを対象にアンケートを実施しています。2023年度のロードサービス全体に対する評価は前年度より向上し、97.2%の方から「とても良い・良い」との回答をいただきました。結果については、さらに精査・分析し、サービス品質向上に役立てています。



# 会員優待サービス とイベント

全国で使える会員優待や楽しいイベント、暮らしの安心を支えるライフサポートまで会員の生活に寄り添ったサービスを提供します。



## 飲食店やガソリンスタンドなど 会員優待施設は約47,000か所\*

さまざまなお店で割引や特典が受けられる会員優待サービス。飲食店や観光施設、温泉、道の駅などジャンルも多彩。会員証の提示(一部は予約などが必要)で手軽に利用できるのも人気の理由です。2023年度も多くの方にご利用いただき、会員優待サービス利用者は4652万名以上となりました。

※2024年3月末現在



### 会員優待施設の主なジャンル

グルメ/ショッピング/温泉・入浴施設/観光名所、動物園など/  
美術館、博物館/道の駅/ガソリンスタンド/アミューズメント/  
遊園地・テーマパーク/暮らし/アウトドア/  
SA・PA/宿泊/旅行/カルチャー/その他

### 「全国どこでも使える!」を目標にサービス強化



会員の皆さまが地域差なく会員優待を利用できるように、全国展開している企業や地域のチェーン店、オンラインで使えるサービスを強化。会員メリットを実感してもらえよう、今後も会員優待施設の拡充に取り組みます。

## JAF優待情報サイト 「JAFナビ」

会員向けのおトク情報を紹介しているウェブサイト「JAFナビ」。“会員優待”ページでは、会員優待施設検索のほか、キャンペーンや新規優待情報を随時更新。2024年3月には“ドライブ”ページをリニューアルし、ドライブコース作成やお出かけスポット・イベント検索がより簡単・便利になりました。



## クーポン利用者は年々増加 「JAFスマートフォンアプリ」

「JAFスマートフォンアプリ」では会員優待施設の検索はもちろん、アプリで表示できるデジタル会員証の提示で会員優待サービスを受けることができます。アプリで配信される「JAFアプリクーポン」の2023年度利用者は前年度の約1.5倍に。ドラッグストアなど日常で使えるクーポンが好評でした。



### 過去2年の「JAFアプリクーポン」利用者数

2023年度	3,242,826名	2022年度	2,129,714名
--------	------------	--------	------------

### ユーザーの好みに合った 「イチオシクーポン」で利用促進



続々と配信される「JAFアプリクーポン」。使いたいクーポンが簡単に見つけられるように、2024年3月にアプリ内の「会員優待・クーポン」機能をアップデート。会員優待施設でクーポンを使えば使うほど、ユーザーの好みに合ったものが表示される機能が追加されました。お気に入りのクーポンはアプリ内に保存でき、使い忘れを防止することができます。

※JAFアプリクーポンを一度も使ったことがない場合は、JAFおすすめのクーポンが表示されます。

## 切り取りクーポンが満載 「JAF PLUS」

機関誌「JAF Mate」に同梱して、年4回お届けしている情報紙「JAF PLUS」。毎号、旬のおトク情報や種類豊富な切り取りクーポンを掲載しています。2023年度のクーポン利用者は1431万名以上で、「JAFアプリクーポン」とともに根強い人気です。

### 2023年度「JAF PLUS」クーポン利用者数

14,310,602名



## 永年継続会員の皆さま限定の 「JAFプレミアムサービス」

10年以上継続の個人会員を対象に、さまざまな特典・サービスを用意。30年以上継続の方は、特別な旅行企画「JAF旅!」も利用できます。

### JAFプレミアムサービス

	10年以上	20年以上	30年以上
永年ステッカー進呈	○	○	○
プレミアム優待	○	○	○
トラベルデスク	○	○	○
JAF旅! ～特別な旅行企画～	—	—	○



### ドライブによる 地域振興活動

ドライブによる地域振興を目的に、全国の自治体や観光協会と連携してドライブスタンプラリーや各種イベントを開催しています。また、名産品や特産品を会員優待サービス・プレゼント企画を通じてJAFの各種媒体でPRするなど、さまざまな活動を実施しています。



#### エリア周遊で交流人口増加を促す 「ドライブスタンプラリー」



アプリのダウンロード不要、スマートフォンで参加できるドライブスタンプラリーは、いつでもどこでも参加者が好きなタイミングで楽しめる点が人気です。2023年度は複数の自治体をまたぐ広域開催も多く、160コースを実施。スタンプ総押下数36万回以上と、地域への送客に寄与しました。

### 産学官連携で推進する 地域活性化プロジェクト

大学や自治体などと連携して取り組む地域振興は、2023年度において8地方本部24支部が39校と活動しました。宮城支部では「仙台・東北 学生ドライブスタンプラリーコンテスト2023」を開催し、県内2大学6チームの学生がアイデアを披露。最優秀賞の企画は実際に2024年3月から実施されました。



### 思い出づくりにぴったり 楽しい会員向けイベント

地域性をいかした体験型イベントの「JAFデー」や、8地方別に実施する大規模な「JAFフェスティバル」など、全国各地で定期的に会員向けイベントを開催しています。申し込みや支払いもウェブで簡単に手続き完了。親子連れからシニアまで、気軽に参加して思い出づくりができると好評です。



### 海外旅行先のレストランや ホテルなどもおトクに

会員は海外旅行先で現地自動車クラブのロードサービスを受けられるほか、一部の国と地域ではレストランやホテルなどを特別料金で利用できます。一方、訪日した海外の自動車クラブ会員に対しては、国内約4,400か所\*の施設で優待サービスを実施しています。

※2024年3月末現在



### JAF会員はポイント2倍\* 「JAF通販紀行」

JAFオリジナルミカやカーバッジなどのJAFグッズをはじめ、おしゃれを楽しむファッションアイテムや便利な雑貨など、豊かなカーライフを応援する商品を厳選して販売。JAF会員は買い物で貯まる「J.S.サンクスポイント」がいつでも2倍\*。貯まったポイントは支払いに使うことができます。

※ECサイトからのご注文に限ります。販売：(株)JAFサービス



### 暮らしの安心も提供する 「JAFライフサポート」

「クルマの不安だけでなく、あらゆるシーンで頼れるJAFになりたい」。家計にうれしい会員優待サービスに加え、日々の暮らしをサポートするサービスも展開。60年以上ロードサービスの安全・安心に取り組んできたJAFだからこそ、毎日の生活にも安心をお届けできると考えています。



#### 「JAFライフサポート」3つのサービス

● JAFのホームライフサポート  
お家まわりのトラブルに、24時間365日いつでも対応  
(JAF会員:2,200円/年 一般の方:3,300円/年)  
業務委託先:ジャパロベストレスキューシステム(株)



● JAFでんき  
JAF個人会員年会費4,000円分相当の特典\*が毎年もらえるJAFの電気サービス  
※特典提供には条件あり  
サービス提供元:auエネルギー&ライフ(株)



● JAFの保険  
医療保険、傷害保険、介護保険など、さまざまな保険プランを用意  
保険代理店:(株)JAFサービス保険部  
保険引受会社:朝日生命保険(相)/東京海上日動火災保険(株)/三井住友海上火災保険(株)



# 社会課題への取り組み

交通安全や税制問題などの課題に向き合い、自動車ユーザーや社会全体に向けた啓発活動で健全で明るいくま社会の発展を目指します。



## 実車を使って学べる 実技講習会

運転に苦手意識や不安を抱えるドライバーのために、マイカーでの体験型講習や車庫入れ講習を開催。インストラクターの指導のもと、実技体験を通して自分の運転技術を確認することができます。

### 2023年度 実技講習会 開催実績

	開催数	受講者数
ドライバースeminar	33回	292名
シニアコース	48回	404名
ニガ手克服講習(車庫入れなど)	72回	225名



## モビリティサービスを活用した 地域の交通課題への取り組み

観光地や過疎地など交通課題を抱える自治体や事業者において、新しい移動手段として期待されている「グリーンスローモビリティ」。JAFはヤマハ発動機(株)との協働事業で車両導入業務をおこなっており、これまで9自治体\*に対し実証実験などを支援しました。

\*2024年3月末現在



## 子どもも大人も楽しく学べる 交通安全体験ツール

交通安全イベントで人気なのが、クイズに答えて発行される「子ども安全免許証」や反射材効果を視認できる「リフレクBOX」。交通安全を気軽に学べるオリジナルツールを開発し、より多くの方に交通安全意識を持ってもらうことを目指しています。

### 2023年度 交通安全体験ツール 体験者数

子ども安全免許証	193,394名	反射材効果体験	59,342名
----------	----------	---------	---------



## 子どもたちに交通ルールを 教える「ドレミぐるーぷ」

2007年から続く「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」の活動。音楽愛好家らのボランティアグループの協力によって運営されており、幼稚園児・保育園児とその保護者を対象に、交通ルールを守ることの大切さを音楽を通じて伝えています。

### 2023年度「JAF交通安全ドレミぐるーぷ」開催実績

公演数	118回	参加人数	11,621名
-----	------	------	---------



## クルマに関する疑問を検証する 「JAFユーザーテスト」

自動車ユーザーが日頃感じている疑問や不安について、JAFが独自に実験・検証。電動キックボードの衝突実験や、落雷がクルマやドライバーに与える影響など、2023年度も社会ニーズを捉えた4つのテーマを検証しました。結果はYouTubeやウェブサイトで公開し、報道機関に資料提供もしています。

### 2023年度 JAFユーザーテスト テーマ

駐車支援機能はどこまで使えるのか?
電動キックボードの衝突実験
落雷時、車や車内にいる人への影響は?
ルームミラーとデジタルインナーミラーの見え方の違いとは?

## 高齢ドライバーの安全運転を 講習会やウェブでサポート

社会問題のひとつになっている高齢ドライバーによる交通事故。JAFではシニア向けの実技講習会を開催しているほか、ウェブサイト「エイジド・ドライバー総合応援サイト」で長く安全に運転するための情報を公開。オンラインで自分の認知・目・耳の機能状況の把握とトレーニングができます。



### YouTuberとコラボレーション



**【教えて! JAF先生】**  
パーキングアシスト編

交通安全の知識をわかりやすく解説するコンテンツとして、YouTuber・木村亜美氏とのコラボ動画「教えて! JAF先生」を制作。2023年度はシリーズ第8・9弾の2本をYouTubeに公開しました。

### 危険予知トレーニングなど ウェブで学べる交通安全

安全運転のコツや交通安全の知識を、パソコンやスマートフォンで気軽に学べるウェブコンテンツを提供。さまざまな交通場面の危険を予測する「『実写版』危険予知・事故回避トレーニング」には、2023年度に「路面電車編」「新モビリティ編」各2本を追加し、計81本の動画を公開中です。



#### ウェブサイトで公開中の主な交通安全啓発コンテンツ

●安全運転のコツ	
高齢運転者のための「エイジド・ドライバー総合応援サイト」	
「実写版」危険予知・事故回避トレーニング	
JAF交通安全トレーニング(法人向けサブスクリプションサービス)	
交通安全3分トレーニング(危険予知クイズ)	
動画でCheck! 交通安全カテゴリー10	
●いのちを守るために	
後席シートベルトの安心力	私にもできるマイカー点検
はじめてのチャイルドシートクイックガイド	JAF Safety Light(ヘッドライトの使い方)
ジュニアシートはもう要らない?	クルマのトラブル診断
360度VR動画	クルマ何でも質問箱

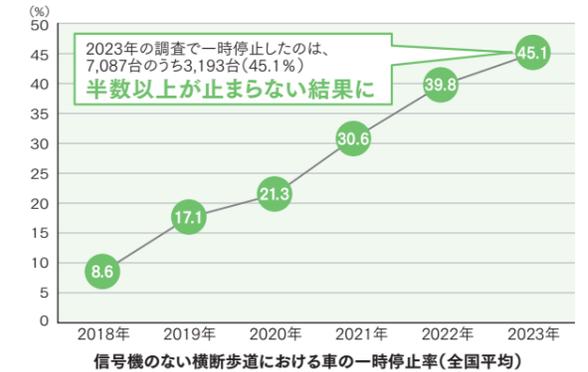
#### もしもの状況を疑似体験する「360度VR動画」



クルマの水没や車両衝突など、危険シーンを再現したVR動画を公開。映像は360度自由に動かして視点を変えることができ、VRゴーグルを使えば臨場感のある映像体験が可能です。

### 「信号機のない横断歩道での車の一時停止状況」全国調査

2023年で8回目となった「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況」全国調査。一時停止率の全国平均は過去最高の45.1%で増加傾向ではありますが、いまだに半数以上が止まっていません。こうした現状は毎回広く報道され、全国的な交通安全啓発につながっています。



#### 「思いやりティドライブ」プロジェクト



横断歩道の全国調査もプロジェクトの一環です。結果はウェブサイトで公開中。

「全てのクルマが思いやりいっぱいだったら、もっと素敵な交通社会が成り立つはず」。そんな思いを叶えるために、交通ルールやマナーを守ることの大切さを発信。一人ひとりの思いやりには社会を変える力があることを訴え、「共感の輪」を広げる活動を展開しています。

### 地域や法人の座学講習に 専門講師を派遣

自治体や企業、高等学校などからの依頼を受け、交通安全啓発の講習会や企業内研修に講師を派遣しています。依頼元に向出出張型のほか、オンライン講習も対応可能。プログラムはJAFがこれまで蓄積してきたオリジナルデータをいかした内容です。

#### 2023年度 座学型交通安全講習会実績

回数	3,982回	受講者数	607,827名
----	--------	------	----------



### 法人向けeラーニング事業 「JAF交通安全トレーニング」

長年培った交通安全の知見とノウハウを教材化。安全運転管理業務に役立つサブスクリプションサービスを企業や団体に提供しています。短時間で学べるコンテンツを豊富に用意し、毎日の学習を通して受講者の交通安全意識を向上。契約企業の拡大に取り組むことで、交通事故減少を目指します。  
運営:(株)JAFメディアワークス



### チャイルドシート使用・シートベルト着用状況の全国調査

警察庁と合同で全国一斉におこなっている「チャイルドシート使用状況全国調査」と「シートベルト着用状況全国調査」。自動車ユーザーの実態把握のために、2002年からコロナ禍を除き毎年実施しています。2023年度も調査結果をウェブサイトや「JAF Mate」で発信し、使用・着用の徹底を訴えました。

※2020・2021年の「チャイルドシート使用状況全国調査」は中止



### すべての席での シートベルト着用を呼びかけ

シートベルト着用の重要性を伝える啓発活動を展開。シートベルト効果体験車による時速約5kmでの衝突体験やチャイルドシート取り付け点検、ウェブサイトでは実験動画を公開しています。

#### 2023年度 シートベルト効果体験 開催実績

開催数	895回	体験者数	124,817名
-----	------	------	----------

#### 2023年度 チャイルドシート取り付け点検 開催実績

開催数	60回	受講者数	375名
-----	-----	------	------



### 「災害時にクルマで困らない社会づくり」を支援

2023年7月、JAFは(一社)日本カーシェアリング協会と「モビリティ・レジリエンス・アライアンス」協定を締結しました。被災地にクルマを無償貸与している同協会と、企業・団体・自治体が平時から連携し、協力体制を構築。大規模災害時の迅速なモビリティ支援の実現を目指します。



### 「モビリティ・レジリエンス・アライアンス」協定締結によるJAFの支援活動

(一社)日本カーシェアリング協会によるクルマの無償貸し出し活動をバックアップするとともに、支援の輪がもっと広がるよう、今後もさまざまな形で協力していく予定です。

1. JAF会員に向けた本活動に関する広報
2. 車両の寄付/車両提供呼びかけ
3. 被災者が所有する車両の点検 など



JAFはこれまでに社用車および職員のマイカーを7台寄付しました(2024年3月末現在)。

### 道路交通環境に関する改善提案活動

信号機の設置状況や標識の不具合など、危険や不便を感じる道路環境。ドライバーや地域の方から寄せられた意見・要望を調査・検討して関係機関に改善提案するのが「交通安全実行委員会」です。2023年度は集まった249件のうち、165件を提案。以前からの案件を含め118件の改善が実現しました。



◆問題点  
通学路になっている箇所の路肩線が消えており、子どもたちの安全が危惧されていました。

◆改善結果  
路肩線が再塗装され、視認性が上がり、子どもたちが安全に通行できるようになりました。

### FIA加盟団体としてグローバルに活動

世界の自動車クラブで構成されるFIA(国際自動車連盟)に加盟し、世界第3位の会員数を誇る団体として国際的に活動。2023年度はシンガポール自動車協会の依頼により、同国開催の「海外安全運転フォーラム2023」に講師を派遣。日本の交通ルールや雪道運転の危険性について講演しました。



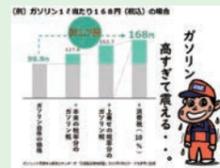
### 自動車税制見直しを求める要望・提言活動

自動車ユーザーの多くが負担に感じている複雑な自動車税制。公平・公正・簡素な税制の実現に向け、2023年度も各政党、関係省庁、国会議員に改善要望を提出しました。抜本的な見直しは先送りになりましたが、今後も皆さまの声を代弁しながら、さまざまな要望活動を継続していきます。



### 2023年度 自動車税制改正に関する活動

- 自動車税制に関するアンケート調査  
5～8月の調査で過去最多の189,285名が回答。98.4%が「自動車に係る税金が負担」と答えました。なかでも「非常に負担に感じる」割合はここ数年で増加し、自動車ユーザーの重税感が浮き彫りに。
- 自動車ユーザーへの活動  
全国各地のイベント参加者を対象に、「自動車ユーザーの生の声を集める活動」を実施。2023年度は約1,000名の声が集まり、特に「ガソリン税」に関する意見が多く寄せられました。また、10～11月には4年ぶりの全国実施となる街頭活動をおこない、関連団体とともに税負担軽減を訴えました。
- 要望・提言活動  
「2024年度税制改正に関する要望書」をとりまとめ、各政党、関係省庁、国会議員などに提出しました。
- SNSで情報発信  
Xで自動車税制について積極的にポスト。わかりやすい説明画像を投稿に添え、多くの方から共感を得ました。



### 外国運転免許証の切り替えをサポート

日本の運転免許証への切り替え時や、日本で運転する(特定国・地域に限る)際に必要となる、外国運転免許証の「日本語翻訳文」を発行。訪日外国人急増により2023年度の発行件数は過去最多に。「自動車カルネ」の発行・認証もおこなっています。

過去2年の「日本語による翻訳文」発行件数			
2023年度	111,691件	2022年度	77,120件



### 外国人のための通訳サービスや情報提供

コールセンターやロードサービスでは、英語、韓国語、中国語など21言語対応の通訳サービスを導入。英語版コーポレートサイトには日本の交通ルールをクイズ形式で学べるコンテンツなどを用意し、日本で運転する外国人をサポートしています。

過去2年の通訳サービス実施件数			
2023年度	2,763件	2022年度	1,637件



# モータースポーツの振興

競技参加のきっかけづくりから観戦の魅力発信までモータースポーツの一層の盛り上がりと競技人口・ファン層の拡大に努めています。



## モータースポーツの統轄団体として

JAFは日本で唯一のFIA(国際自動車連盟)公認団体です。国内競技の安全・公平・公正な開催をはじめ、オートテストの促進や女性参加支援などによる競技人口の拡大に尽力。近年は環境対応車両競技やeモータースポーツの普及も推進しています。

### 過去2年間の競技会公認件数

2023年	784件	2022年	800件
-------	------	-------	------



## ライセンス取得を促進 発給数は年間70,000件以上

ライセンスを取りやすい環境づくりにも取り組んでいます。ゴーカートライセンスは年齢やJAF入会の有無を問わず取得可能。また、四輪国内Bライセンスは講習会をオンライン化し、マイカーで参加できるオートテストへの出場でも取得資格が得られます。

### 過去2年間の競技ライセンス発給数

2023年	71,562件	2022年	72,000件
-------	---------	-------	---------



## 「モータースポーツジャパン」など振興イベントを開催

2024年2月に、JAF主催の振興イベント「JAFモータースポーツジャパン in お台場2024」を開催。2日間でのべ52,000人以上が来場し、デモ走行や同乗体験、マシンの展示など多彩なコンテンツを楽しみました。主要なレース会場にもJAFブースを出展し、モータースポーツの魅力を発信しています。



## 通算22回目 伝統のJAF鈴鹿グランプリ

国内フォーミュラの最高峰・全日本スーパーフォーミュラ選手権の最終戦に冠される「JAFグランプリ」。2023年も三重県・鈴鹿サーキットにて10月に開催されました。当日は体験型JAFブース出展のほか、決勝レース後にサーキット最終コーナーを特別に開放する会員優待を実施し、好評を博しました。



## FIA世界選手権の 日本開催を支援

日本でおこなわれる各種FIA世界選手権の開催をサポートするのもJAFの役目です。2024年3月に東京の公道を舞台に日本で初開催されたFIAフォーミュラE世界選手権についても、FIA競技会関係者や主催者、東京都とともにコースの打合せや視察をおこない、大会実現に向けた支援に携わりました。



## 「ドライバー・オブ・ザ・イヤー」と年間上位入賞者を称える表彰式

国内モータースポーツの1年を締めくくる表彰式。2023年11月、都内会場に各カテゴリーのチャンピオンや上位入賞者が集まりました。その年最も輝いた競技運転者を投票で決める「ドライバー・オブ・ザ・イヤー」には山野哲也選手が選ばれ、登壇したスポーツ庁長官・室伏広治氏がその栄誉を称えました。



## 安全な競技開催のため関係者対象の講習会を実施

大会主催者や選手、オフィシャルを対象に、ラリーやカート競技の安全性向上を目的とした救急救出訓練や救助技術の講習会を開催。2023年度は次世代自動車に参加するFIA世界ラリー選手権やFIAフォーミュラE世界選手権に備え、HEVやBEVのレスキュー方法などの講習会も実施しました。



# コミュニケーション

JAFのサービスを気軽に快適に。  
コミュニケーションの充実をはかり、  
皆さまに役立つ情報をお届けしています。



## ウェブサイト

コーポレートサイト



ロードサービス、交通安全、地域  
ニュース、企業情報など、JAFの活動  
やサービスを幅広く紹介。「マイペー  
ジ」では、会員自身の登録情報を確  
認・変更することができます。

JAF Mate Online



機関誌「JAF Mate」のオンライン版  
で、カーライフや暮らしに役立つ記事  
を日々更新。メルマガやアプリとの連  
携を強化し、2023年度のアクセス数  
は前年度の約1.8倍になりました。

## 機関誌など

「JAF Mate」



年4回、会員の皆さまにお届けしている機関誌。  
連載記事「日本の魅力、再発見」をはじめ、交通安  
全情報、会員サービス案内を掲載。著名人のエッ  
セイや時の人へのインタビューも人気です。

対象	個人会員、法人会員
発行部数	2024年春号 13,443,050部

「JAF PLUS」



「JAF Mate」と一緒にお届けしている情報紙。人気  
の切り取りクーポンのほか、お住まいエリアの会員  
優待施設情報や期間限定のキャンペーンなど、  
おトクな情報が盛りだくさんです。

対象	個人会員、法人会員
発行部数	2024年春号 13,321,650部

「JAFスポーツ」



ライセンス所有者に年4回送付している機関誌。  
モータースポーツの最新ニュースはもちろん、迫力  
ある写真とともに伝える競技の詳細レポートやイン  
タビュー記事は読み応えたっぷり。

対象	ライセンス所有者
発行部数	2024年春号 48,280部



## JAFスマートフォンアプリ

Android & iOS 対応

便利な機能を備えた公式アプリ  
JAFのサービスをスマホひとつで快適に

JAFのサービスを簡単・便利に利用できる「JAFスマートフォンアプリ」。「デジタル会員証」「会員優待施設・クーポン検索」「ロードサービス救援要請」の3つの機能をメインに、その他のサービスにもスムーズなアプローチが可能です。2024年3月末現在、アプリ登録者は前年度から約75万名増え、669万名以上となりました。日常的にアプリを使っただけのよう、ドラッグストアや回転寿司チェーン店など、普段使えるクーポンを積極的に配信。クーポンを利用すると抽選でデジタルギフトが当たるキャンペーンを実施し、アプリの利用促進と満足度向上に努めました。



詳細・ダウンロードはこちらから

## 機能紹介

### デジタル会員証

※個人会員・家族会員限定



ロードサービスや会員優待サ  
ービスも、デジタル会員証の画面  
提示で利用できます。

### 会員優待施設・クーポン検索



現在地やエリア、キーワード、  
ジャンルなどから、会員優待施  
設・クーポンを検索できます。

### ロードサービス救援要請



GPS機能との連携で救援場所  
を特定。質問に答えるだけの簡  
単操作でJAFを呼べます。

### JAFナビ



JAF優待情報サイトとして、全国各地  
の会員優待施設を検索できるほか、  
ドライブコース・観光スポット・イベン  
ト情報が満載。会員向けプレゼント企  
画も充実しています。

### JAFモータースポーツ



競技会カレンダーやリザルト、最新ト  
ピックのほか、基礎知識としてモ  
ータースポーツの歴史や各種目の概要  
などを紹介。競技者も初心者も楽し  
めるコンテンツを用意しています。

## ソーシャルメディア

### X

詳しくは



- JAF
- JAF モータースポーツ
- JAF\_PLUS\_Tokyo



情報発信とユーザーとの双方向コミュニケーションのためにXを活用しています。2023年度、特に反響が大きかったのはJAF公式アカウントのガソリン税に関するポスト。ユーザーからのいいね・リポストも多く、メディアにも取り上げられました。また、「2023年度JAFみんなのエコ川柳」は、前回に続きXを使って広く作品を募集しました。

### Facebook

- JAF 日本自動車連盟
- JAF モータースポーツ



公式アカウントは2つ。JAFからの最新ニュース、交通安全・クルマに関するお役立ち情報、そして、モータースポーツファンに向けて気になるトピックやタイムリーな話題を発信しています。

### YouTube

- JAF Channel
- JAF MOTORSPORTS



YouTubeで幅広く多くの人に情報を発信。「JAF Channel」では交通安全やJAFの活動に関する動画をアップ。「JAF MOTORSPORTS」は国内四輪モータースポーツ専門チャンネルです。

## 対応品質とお客さま満足度の向上を目指して



### コールセンター／支部窓口

「総合案内サービスセンター」では、各種手続きや優待サービスのご案内をしています。継続的に通話応答率や対応品質の向上に取り組み、2023年度のコールセンター（問合せ窓口）の格付け調査では、過去最高得点で「三つ星」を獲得しました。また、支部の対面窓口では、待ち時間短縮や混雑回避のため、来店の前予約サービスを導入。お客さまへのスピーディな対応に努めています。

**会員数 20,501,501 名**  
前年度20,301,304名(1年間で200,197名増加)  
運転免許保有者の約4人に1人が会員です

### 8地方本部と全国の在籍会員数

#### 北海道本部 会員数820,517名

札幌支部 函館支部 旭川支部  
釧路支部 帯広支部 北見支部

#### 東北本部 会員数1,489,002名

青森支部 岩手支部 宮城支部  
福島支部 秋田支部 山形支部

#### 関東本部 会員数6,695,157名

新潟支部 長野支部 茨城支部 栃木支部 群馬支部  
埼玉支部 千葉支部 東京支部 神奈川支部 山梨支部

#### 中部本部 会員数4,086,267名

富山支部 石川支部 福井支部 岐阜支部  
静岡支部 愛知支部 三重支部

#### 関西本部 会員数3,264,589名

滋賀支部 京都支部 大阪支部  
兵庫支部 奈良支部 和歌山支部

#### 中国本部 会員数1,219,952名

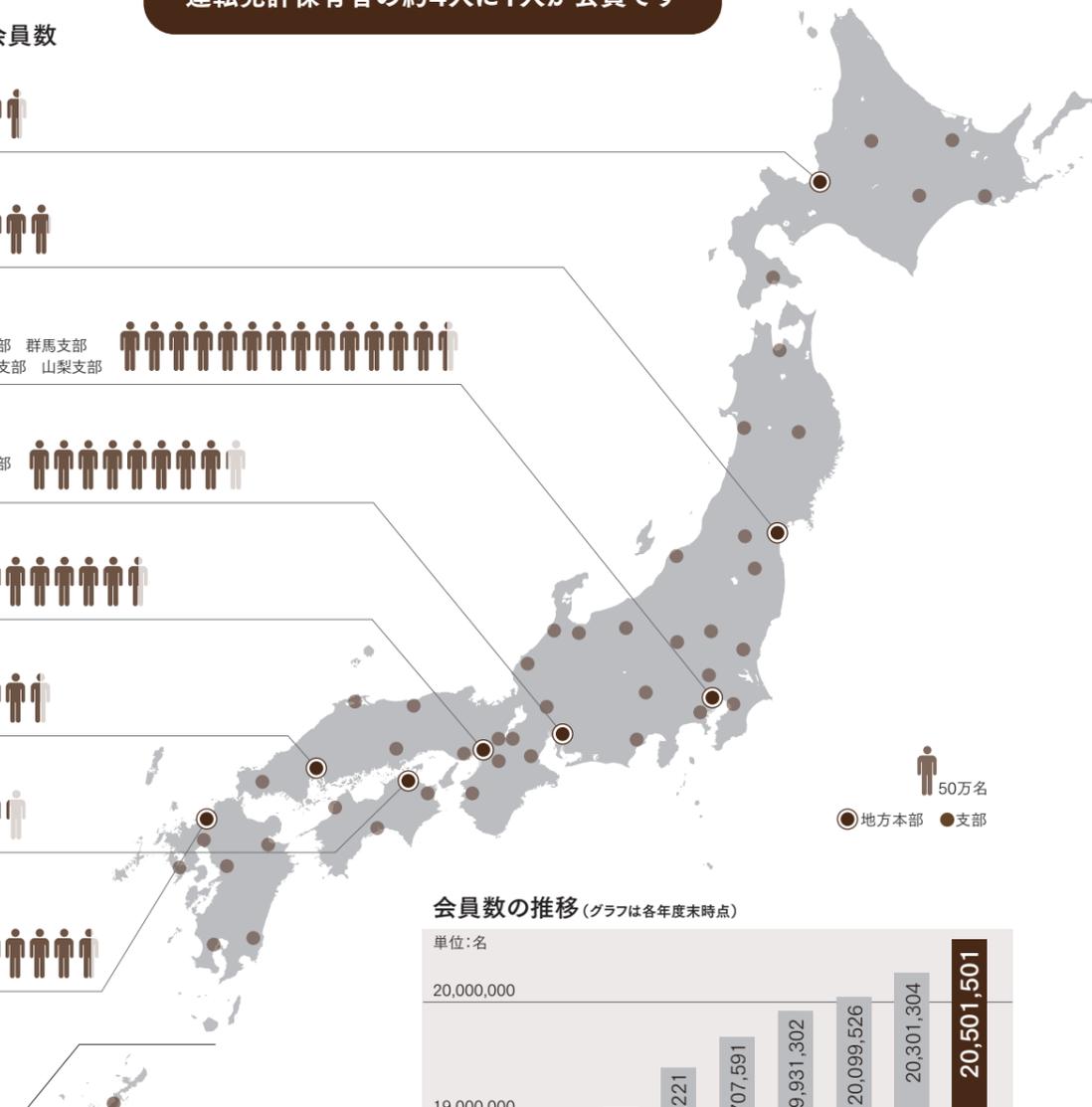
鳥取支部 島根支部 岡山支部  
広島支部 山口支部

#### 四国本部 会員数601,185名

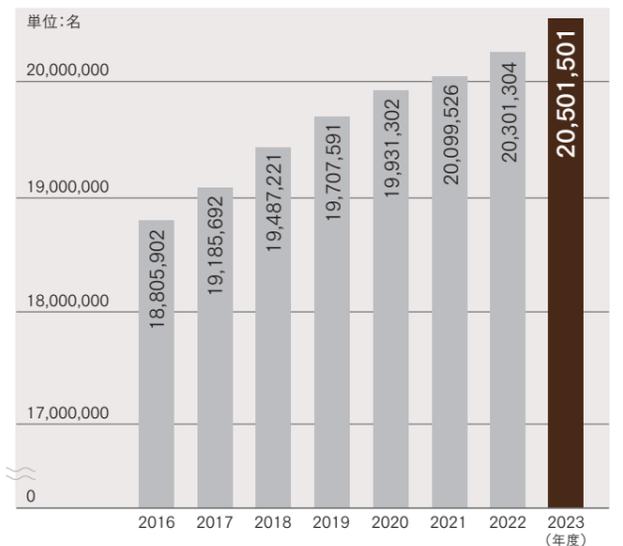
徳島支部 香川支部  
愛媛支部 高知支部

#### 九州本部 会員数2,324,832名

福岡支部 佐賀支部 長崎支部  
熊本支部 大分支部 宮崎支部  
鹿児島支部 沖縄支部



会員数の推移(グラフは各年度末時点)



### 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)

創立	1963年(昭和38年)4月1日
活動拠点	1本部/8地方本部/52支部
職員数	3,416名

### 会員

種類	会員数
個人会員	13,371,563名
家族会員*	6,257,231名
法人会員	872,707名

\*個人会員と同居または生計を同一にする家族(個人会員1名につき5名まで)